

み
か
い

安住院便り (第7号)

平成13年8月1日発行
〒703-8236
岡山市国富3丁目1-29
住職 生駒琢一
TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

南無大師遍照金剛

皆さん、勤行の時やお寺参りで「南無大師遍照金剛」は必ずお唱えしますね。それで、お寺さんの宗派は?などとは、聞かでくださいね。真言宗であり、日本で真言宗を始めたのが、弘法大師・空海和尚であり、一般にお大師さまと言えば、弘法大師を示すほど有名なのです。そのお大師さまが「南無大師遍照金剛」なのです。
(南無)は帰依尊敬の念を示します。

(大師)は弘法大師で、大師号は朝廷から賜る謚号で、現在まで二十数名の高僧に対し贈られています。

(遍照金剛)は、お大師さまが中国に渡り、惠果和尚から、密教を伝えられた時、授かつたお名前で、密教の中心となる仏様の大日如来を示しています。

お大師さまは、香川県の善通寺でお生まれになりました。奈良や京都を始め、様々なお寺に御縁を結ばれています。四国八十八ヶ所の霊場などもその典型です。お寺に限らず、日本各地にお大師さまにまつわる伝説も多く存在し、いなかついて親しまれていたかを物語っています。

ところで、お大師さまは幼い頃から優秀であります。奈良の都に出て官僚になるべく大学にて勉強に励んでいました。ご両親のみならず親戚一同の期待も大きかつたことと思われます。しかし、それらの勉強が本当に将来役に立つ物か疑問を抱かれ、仏教を志し、更に真言密教という新しい仏教を目指されたのです。



確かに、官僚になつて、ご両親や家族を養うことで、ご一族の譽れとなることも重要なことかも知れないが、

仏教により日本中いや世界中の人々を幸せにすることが出来れば、そのこともご両親への恩に報いるものではないか。そのように決意され、出家し、中国に渡り、様々な苦労を乗り越え、真言宗を確立されたのです。現代は、先の見えない時代と言われ、将来に不安を抱えている方も多くいますが、お大師さまを想い、遠くの将来を見据え、何が本当に役に立つかをもう一度ゆっくりと考えてみて下さい。

南無大師遍照金剛

十一月三日（土）

御本尊 御開帳

綺麗になつた、境内伽藍も合わせてご覧下されば幸です。

四国八十八ヶ所靈場巡り

次回は十月十一日（木）です。ので、皆様宜くお願ひ致します。

いよいよこの秋、十一月三日に、安住院御本尊千手觀音菩薩、御開帳法会を、厳修致します。お稚児の練り供養など予定しております。

皆様、御案内はあつたかとは存じますが、是非御参詣下さい、御本尊と御縁を結んで下さい。

午前九時 稚児 集合
午前十時 法会開始
（赤門より鍊供）
午後〇時 法会終了
曼荼羅供法会
（本堂）

聖観音像が写真集に

昨年県指定重要文化財になつた、聖観音菩薩立像が、「鉢彌 荒彌」謎の木彫仏（藤森武写真集）

大規模な法会ではなく、当院の境内整備に御協力下さつた檀信徒の皆様と共に、御本尊を拝むことが出来ればと考えております。

香川徳島の県境にあるロープウェイに乗つての第六十六番雲辺寺から、讃岐の国に入り高松の第八十三番一宮寺までの十八ヶ寺で、数では最も多い参拝となりました。

香川県の札所は、平地が多くまた距離的にも近いので、番号とお寺が混同してしまいますが、それぞれ特色のあるお寺も多く、安住院の本山である善通寺も含まれています。善通寺では、時間をとつて戒壇巡りも行い、境内もゆつくりお参りしました。岡山からも近い本山ですので、皆様またゆつくりと来てみましよう。

その他、急な上りの弥谷寺、五色台の白峰寺など、近くてもなかなかお参り出来ないところも元気を出してのお遍路でした。

